

(議事要旨) 社会資本総合整備計画①

「子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備」の中間評価

●委員

通学路の安全確保とあるが、プログラムの中には、園児など未就学児も対象になっているのか。送迎する場所までの対策やお散歩コースの安全対策は含まれるのか。

○道路保全課

保育園児も含めた未就学児については、令和元年の津市で園児が巻き込まれる事故を受けて、未就学児が集団的に移動する経路についても対象にしている。よって、危険箇所があれば点検を行い、対策をしていくこととなっており、通学路と重なるところも多いが、同様に安全対策を行うこととしている。ただ、あくまで集団的に移動される、いわゆるお散歩道が対象となっている。

●委員

事後評価の主要な事業で選定された国道307号(斧磨工区)について、資料16ページの図面で、北側の緑色の区間はどのような位置付けか。

○道路保全課

当該事業は、名神東側にある斧磨集落の児童の小学校通学路として、国道307号横断部から南側を最優先として事業を進めている。北側の緑色の区間は、中高生も含めた通学路対策としての必要性などを見極めて検討していく区間としている。

●委員

主要な事業として斧磨工区を選定されたが、全体事業費は他の候補事業より大きいのか。

○道路保全課

草津伊賀線は全体事業費が上回っているが、着手から長期間にわたる事業であり、概ね歩道整備が完了しているものの、一部用地買収が難航しており、現在事業が進捗しない状況であることから、対象外としている。長浜近江線は、斧磨工区の方が事業費は大きい。

また、3・4番の事業は、現在別の整備計画で実施しているため対象外に、5・7番は改築の要素が大きい事業のため対象外にしている。

●委員

17ページの守山市のグリーンベルトの写真があるが、このような路面のカラー舗装のみの整備というのは全体でどれくらいあるのか。

○道路保全課

事業数としては、97事業のうち11事業である。

●委員

グリーンベルトだけでは、車が入ってきそうな気がする。歩道整備ができなかったのだろうと推測するが、できる限り段差を設けるなどの対策を進めていただきたい。

●委員

中間評価まとめの「事業効果の実現状況」について、このプログラムに対する事業効果の実現状況というのは、どう捉えるのが既定方針になっているのか。

○道路保全課

バイパス事業などであれば、国の費用便益分析マニュアルに基づき、事故減少や走行時間短縮の便益などを示すことができるが、歩道整備については、定量的に示すことが難しい。

今回の資料は、整備前後の写真で安全の効果を示しているが、アウトカムとして、事故の減少率などもあると考えている。参考にはなるが、中学生以下の子どもの事故による死者数は、令和元年5人、令和2年2人であったものが、直近の5年では1人のみとなっている。

●委員

エリアを設定して死亡率や負傷者率を出すなど、どのような整備が最も安全に対して有効なのか、継続的にモニタリングしていただきたい。

●委員

この計画の対象とすべき事業の選定が大事な要素になってくると思うが、選定基準や優先度について、どのような検討しているのか。

○道路保全課

各市町の教育委員会が主体となって、各学校のPTAなどの意見も踏まえて、危険箇所の抽出をされ、その箇所を道路管理者、警察が合同で点検をして、必要な対策内容を決定している。その中で、大きな事業を中心に、このパッケージで事業実施している。

●委員

小学生も重要だが、中高生の自転車通学についても、長距離だったり、街灯も少なかったり、接触機会が少ない時にぶつかってしまうというケースも少なくないのではないかと思う。実情を踏まえて、データをストックしていただきたい。

●委員

北の方に住んでいる中学生の保護者である。大きい道ではたくさんのトラックがすごい速さで走っていて、一人で登校することもあり、怖い思いをしている。学校でPTAなどから意見を吸い上げていただいているとのことで安心はしたが、高校生になると、駅まで行く間に危険な箇所がたくさんある。学校や保護者、地域と連携しながら、より丁寧に見ていただけると良いと感じた。

以上